

# 30周年記念上映会

＜2016年10月1日(土)&2日(日)上映作品＞

兵庫県立美術館 ミュージアムホール

〈神戸を拠点に映画を発信しよう〉と自主製作グループ、映画製作委員会を立ち上げ、取り組んだ作品が「24000年の方舟」(1986年)でした。それから30年が経ちます。その間に私たちの現場もフィルムからデジタルに、阪神淡路大震災を経験し、時代も20世紀から21世紀に変わり、福島での原発事故が起こっても何も変わらないこの国の姿を見てきました。この間に核廃棄物、アトピー、食と農、コミュニケーション、ハンセン病問題と多様なテーマに取り組んできました。が、良くなるどころか悪い方に向かっているように思います。

30年を節目として改めて皆様といっしょに、これまでの作品を通して、今の時代をもう一度考えてみたいと思っています。ぜひご参加下さい。



## メモリアル上映会

10月1日(土)

10:30	24000年の方舟 1986年 33分	原発が稼働する限り生まれる核廃棄物。その実態をとらえた作品。
11:05	奇妙な出来事アトピー 1991年 46分	アトピーを通してく本当の豊かな生活とはなにかを問いかける。
13:00	紙芝居がはじまるよ! 2004年 40分	ヤッサンの紙しばいは送り手と受け手のコミュニケーションで成り立つ
13:45	風ものがたり 1995年 58分	自然と人間 都市と農村の共生とは! その原点を見つめる。
15:00	フランドン農学校の尾崎さん 2006年 73分	尾崎さんは有機野菜作り30年。1年を通して有機農法と活動を描く。

10月2日(日)

10:30	もういいかい~ハンセン病と三つの法律 2012年 143分	100年にわたるハンセン病問題の歴史を描いた問題作。
-------	----------------------------------	----------------------------

## スペシャル上映会

10月2日(日) 14:00 ~

最新作上映! 神戸映画上映120年記念作品

監督/高橋一郎 2016年カラー

最後の活動弁士

### 井上陽一の世界

サイレント映画の華活動弁士! その魅力と世界を描く

弁士・井上陽一の活弁ライブ

### 『水戸黄門 来國次の巻』

監督/新井良平 脚本/山中貞雄 出演/大河内傳次郎 昭和9年 日活作品 69分 16コマ



大仏次郎の新聞小説を山中貞雄の脚本で映画化。ご存知水戸黄門を大河内傳次郎 痛快ユーモアあふれる物語を弁士・井上陽一が熱く語ります。乞うご期待!

水戸銭 500円

とき/ 2016年10月1日(土)&2日(日)

ところ/ 兵庫県立美術館ミュージアムホール

参加費 500円 (1日券・中学生以上)

\*スペシャル上映は別途料金が必要です

お問合せ 映画製作委員会 ☎078-333-8690